

## 今後の予定と活動

### 平成30年度 不登校で悩む親のためのお助け講座（年4回）

- 第1回 パネルディスカッション「居場所はここにある」6月17日（日）  
 パネラー：のぼす会、パカパカ、共育ネット、朴の会、行政
- 第2回 「スマートメディア氾濫社会を問う」～WHOの”ゲーム症”“疾病指定から見えてくるもの～  
 講師：浜松学院大学短期大学部教授 今井昌彦さん10月14日（日）
- 第3回 「特別支援学校の相談活動を通して」12月2日（日）  
 講師：元愛知県立特別支援学校教諭 山本伸二さん
- 第4回 カウンセリング講座 2月3日（日）  
 講師：臨床心理士 米村 高穂さん  
 場所：第1回、第2回—アイプラザ半田 小ホール 3回、4回—研修室  
 時間：いずれも14時～16時



この事業は半田市市民活動助成金対象事業です。

### 平成29年度総会案内

日時：5月12日（土）13時～  
 場所：アイプラザ半田

ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。

<寄付者の皆さま> 平成29年12月～(Webサイト可の方々です) 順不同 敬  
 山下優、榊原一馬、稲垣美由紀、南孝子、村瀬明子、松田和子、近藤直子、伊藤恵造、福島富美、伊奈真弓、新海美智子、榊原展子、梅村より子、小川由美、百崎弘子、東珠実、由里宗久、九澤郁子、竹内織江、鈴木はるみ、可知由香、近藤嘉代子、中川貴王、木村智恵子、小出由里子、北原稚香子、関光徳、鈴木郁夫、石黒雄大、藤田千晴、黒瀬文江、福地保、福地春生、福地昌子、黒瀬育子、長谷川元洋、大崎玲子、山内睦代、千田純子、佐藤美津子、佐々木恵子、松原美花、竹尾裕子、渋谷洋子、柴川久仁子、榎本弘子、吉田典子、杉浦珠実、新原由子、伊藤寛、ろうきん寄付システムの皆様

<団体寄付の皆さま> 順不同、敬称略

JA あいち知多女性部半田地域、国際ソロプチミスト半田、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

<知多信用金庫夢サーポート助成金> 25万円（2部学習支援のために）

<半田市市民活動助成金>（「不登校で悩む親のためのお助け講座」のために）

※書籍、文房具、お菓子、果物、食品などの寄付もありがとうございました

皆さんの寄付でのぼす会は成り立っています。  
 ご支援ください

#### 年会費・寄付金の振込先

年会費 2,000円 寄付金 1口 1,000円から

- ①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2074829  
 名義：子どもたちの生きる力をのぼすネットワーク 会計 伊藤 敦
- ②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549  
 名義：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのぼすネットワーク
- ③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412

加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

☆名義名がそれぞれ違い、ご不便をおかけしますが、お間違えのないようにお願いします。

### ボランティア募集中

のぼす会では、次のような

- ①小・中学生と寄り添って一緒に遊べる方
  - ②得意なことを生かして活動できる方
  - ③勉強を教えてくれる方
- 方々をボランティアスタッフとして募集しています。

下記連絡先までご連絡ください。

連絡先 080-1622-5717

赤松 由隆

第15号 NPO 法人子どもたちの生きる力をのぼすネットワーク  
 Newsletter 2018（平成30）年 4月5日 発行



# のぼす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田109, 110号室

☎ 080-1622-5717

http://www.f-school.jp/nobasukai

web http://f-school.jp/nobasukai/

blog http://blog.canpan.info/nobasukai/

f https://www.facebook.com/nobasukai

代表理事 赤松 由隆



## のぼす会文化祭



平成30年1月20日（土）アイプラザ半田 2階小ホール

今年ものぼす会文化祭が開催されました。今回は子どもたちが歌ったり踊ったりして盛り上げました。



### 今だから話せる第4弾（卒業生の話から）

僕が学校に行けなくなったのは、中学二年生からです。今、思い返してもどうしてかは分からないのですが、その時から人が苦手になって、三年生からは一度も学校に行けなくて卒業してしまいました。

一昨年の秋ごろ、のぼす会を訪ねました。外出することが難しかった僕が、のぼす会に来ようと思ったのは、一つは外に出なくなってから四年間立ったこと、二つは自分の将来を考えるようになったこと、三つは人見知りのほうも少し落ち着いてきたからです。それから中学の時に、学校の先生にのぼす会というところがあるよと教えてもらったことを思い出し、見学しに来ました。

一月から、三か月間、朝始まりから終わりまでのぼす会に来て勉強し、家でも勉強しました。合格するとは思っていませんでしたが、昼間定時制に合格しました。

今、二十歳ですがもうすぐ一年間が終わりそうです。のぼす会では春・夏・冬の寺子屋などのお手伝いをしました。小さい子と楽しく遊びました。将来の夢はまだわからないけど、自分のやれることをやりたいと思います。

### 娘の成長を目のあたりにして

保護者

私は今回初めて文化祭を見させてもらいました。最初はみんな歌を歌って楽しくなりました。次はいよいよ娘が出演するダンスです。正直すごくドキドキしました。しかし、曲が流れ、笑顔で楽しそうに踊る娘をみたとき、心配から喜びに変わり、踊りが終わったときには感謝で涙があふれました。一人でいることが多かった娘が仲間の人たちと一緒に踊っている姿は夢のようでした。

娘は昨年九月よりのぼす会にお世話になり、ダンスを通して「みんなで一緒に一つのことに取り組む楽しさ」を体験して明るくなりました。毎日の生活の中で好きなことをしながら目標を持っていくことの大切さを教えてくれました。

今娘は多くの人に支えられて成長しています。私自身ものぼす会との出会いを感謝して寄り添える親になりたいと思います。

### ダンス発表 in のぼす会

AK

私にとって今年の文化祭は中学生最後の文化祭でした。文化祭には五人のメンバーと一緒にダンスを三曲踊りましたが最初から最後まで大変な文化祭だったと思います。文化祭でダンスを初めたのは去年でした。今年の文化祭が行われたのは1月20日でした。先月の12月23日にアイプラザの講堂で二曲踊ることになっていたの、文化祭のダンスに取り組みはじめたのが冬休みが終わった後の1月9日からになりました。衣装やCD、踊りにのぼす会や寺子屋の子供達での歌を後11日で完成させなければいけませんでした。当日にダンスの振り付けを変えたりと、とても大変でしたが午後の本番はみんな失敗なく良かったと思います。ダンスの司会から衣装の着替えまで沢山のスタッフさんにお世話になりましたが、今ではとても良い思い出になったなと思っています。

## 不登校で悩む親のためのお助け講座感想

### 第4回「発達障がいについての理解とその対応」に参加して

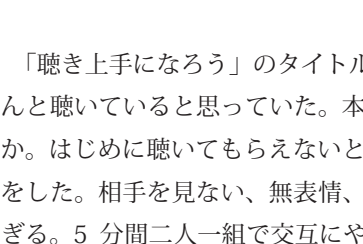


スタッフ 巽幸代  
発達障がいのことを何となく分かってはいたつもりでしたが、きちんと理解したくてこの講座に参加しました。井上先生は具体的な例を挙げてお話を下さったのでとても分かりやすかったです。

中でも特に衝撃を受けたのは一人の男の子が井上先生に「先生はここら辺に（空中）字が見えるのでしょうか。でも僕には見えない。」と言ったことです。きっとまわりの人から「君は空気が読めないね。」といつも言われてきたのでしょうか。言葉を言葉通りにしか受けとめられないと知識では知っていても、素直すぎるために、現実苦しんでいる子どもたちの実態を初めて知りました。あいまいな指示は混乱のもとになることも学びました。

のぼす会のスタッフとしての的確に何をどうするのか言葉かけにも心を配れるようになっていきたいと思います。

### 第5回「聴き上手になろう～カウンセリング講座～」に参加して



スタッフ 榎原紀美子  
「聴き上手になろう」のタイトルに、自分は人の話をちゃんと聴いていると思っていた。本当にそうだったのだろうか。はじめに聴いてもらえないとどんな思いになるか体験をした。相手を見ない、無表情、うなずかない、話をさえぎる。5分間二人一組で交互にやった。長く苦しく辛い時間だった。相手にそんな思いをさせないための心得の中で特に感じたことは、聞き出そうとしない、相手が話し出さずまで待つ、わかったつもりにならない、自分の話は少なくするなど。やれているようでやれていないことばかりだった。家族になるとまた難しい。自分の考えを言いすぎしてしまう。



講師から「まずは相手の話を3分黙って聴いてみては？」心して実践してみようと思う。

## 第6回講座「25年間の相談活動を振り返って」

伊藤八千穂

この一年6回にわたり不登校や引きこもりで悩む親御さんと共に学ぶ機会が与えられ大変勉強になりました。のぼす会の関わりを振り返ってみると、その接点は私が学生の時に出会った難病の子どもたちの生きざまにありました。熱心な先生、悩む親御さんとの出会いで相談会がはじまり子どもたちの居場所がスタートしたのです。当時は、甘やかさず、いい加減だと非難されましたが、子どもたちのあるがままを受け入れて「学校へ行けないことは悪い事ではない、休む事は必要なこと」と言い続け、子どもたちとお母さん方を励ましてきました。「のぼす会」は子どもたちが、社会に向けて羽ばたくための次に繋がる中継点だと思っています。



## 自分のコンプレックスはむしろ長所！？

臨床心理士 米村高穂

人は思春期に入って成長する中で、自分のことを客観的に見られるようになります。それはとても素晴らしい事なのですが、自分の容姿や不得意なことで悩みが増えます。例えば、人より背が大きい、痩せている、声が低い、目が小さい…など。私も、人より「痩せている」ことを今でも気にしています（私は「ガリガリコンプレックス」と言っています）。人から羨しがられることもあるのですが、「頼りない！」「食べ物好き嫌いを書いていないでしっかり食べなさい！」と、私のことを知りもしないのに言われたり、好きな女性から「がっしりとした人がいい」なんて言われたこともあります。そのたびに嫌な気持ちになり、自分のコンプレックスに悩みました。ところが、大人になり友人とファッションでオシャレをするようになり、初めて痩せていることが「長所」だと思えるようになってきました。今、思春期の迎えている皆さんの中には、いつか自分のコンプレックスがむしろ「長所」になる日がくるかもしれません。それは、自分一人ではなく、「人」と交わる中で気づくのではないのでしょうか。

## 平成29年度のぼす会卒業・修了を祝う会

ご卒業、進級おめでとうございます。それぞれの思いを胸によく頑張ったこの1年を過ごせたと思います。卓球をしたり、ダンスに励んだり、おしゃべりに興じたり、問題に取り組んだり、自分の個性を生かして、明るく過ごせたのではないのでしょうか。

皆さんはこれから新しい環境に一步を踏み出しますが、いろんな人の中であって自分らしく一步ずつ歩いて行って欲しいと思います。私はのぼす会に関わるようになって、一人ひとりが今までの環境に関わりなく、変わっていきける力を持っていることを皆さんが教えてくれました。疲れたら一休み、周りにはいろんな人がいますよ。

代表理事 赤松 由隆



### 卒業生の言葉



☆2年間ありがとうございました。卒業生、在校生のかた、卒業、進級おめでとうございます。私はのぼす会に来て、とても楽しい日々をたくさん過ごせたと思います。不安もありましたが、他の生徒さんやスタッフさんのおかげでとても良い居場所ができたと思っています。本当にありがとうございました。（あいらっち）

☆約3年間本当にありがとうございました。のぼす会はとっても楽しかったです。高校に行ってもたまたま遊びにきます。そんな時はよろしくね。本当にありがとうございました。（文音より）

☆のぼす会は、自分の好きな時に外に出られたり、休んだりできます。スタッフの方も優しく話しやすいので、まさに居場所だと思っています。（YT）

☆2年間お世話になりました。いっぱい卓球ができて良かったです。（陽向）

## 卒業にあたって

のぼす会の存在は息子にとって安心して過ごせる居場所となりました。

コミュニケーションがうまく取れず、スタッフの方々に悩ませてしまった事もあったと思います。それでもいつも暖かく見守ってくださったおかげで、息子はこの2年間でいろんな事にチャレンジし、大きく成長することが出来ました。

特にのぼす会でやっている卓球は、学校でもクラブに参加でき、担任の先生にも多大なるご尽力をいただきました。本当に多くの方々に支えられここまでくる事ができました。ありがとうございました。

これからも感謝の気持ちを忘れずに前を向いて一步ずつ進んでいこうと思います。

保護者 榎原涼子

## 冬休みの寺子屋大作戦

のぼす会では春、夏、冬休みに5日間寺子屋事業を行っています。今回の冬の寺子屋には約12人の子どもが参加しました。在籍している中学生による読み聞かせや、コマ回し大会、ビンゴ大会、大掃除をしました。また、アイブラザ主催の映画上映会のオープニング担当として参加するため、前日からベルや歌の練習に励み、本番では、お客さんの前で堂々と発表できました。あまり、アイブラザの職員さんや、他の大人との関りがなかったのも、新鮮なみんな頑張っていました。オープニングは大成功を収めみんな喜んでいました。普段の寺子屋内での生活としては、全日程かけて冬の寒さを感じないほど元気に外に飛び出していく姿が見られ、とても楽しく過ごせていてほっとする瞬間が多々ありました。また、アイロンビーズをするのが好きで、各々思うがままに作っており、その作ったものが、のぼす会の文化祭で展示されました。いつもと違った新鮮味溢れる冬の寺子屋で、子どもたちも満足する様子が見られました。

